

# 旅に出ようよ！ 旅の提案

山本玲子

1年半以上にわたる新型コロナウイルス感染症の影響で、ガマンを強いられてきたものの1つが旅行だ。以前は温泉でのんびり、または物見遊山の旅が一般的だったが、時代とともに旅のスタイルも大きく変化している。近年、特に顕著なのが、多様化だろう。

## 近場の旅「マイクロツーリズム」

コロナ禍で俄然注目されるようになったのが「マイクロツーリズム」だ。自宅から1〜2時間ほどの距離への日帰り、または1泊程度の旅行を指すもので、感染リスクの低さと気軽さから人気を集めるようになった。近場を旅して、知らなかったグルメ、工芸台、自然などを再発見して、何度も足を運んでもらうのが真の狙いだ。最近、都心の駅では自社の鉄道沿線にある観光地を宣伝するポスターもよく見られるようになった。

脱線するが、マイクロツーリズムの

極地が、散歩だろう。家にもつてばかりでなんとなく気分が晴れない人にも、少し遠くまで歩くことをすすめる。健康増進はいうまでもなく、いつもとは違う景色は脳にも良い刺激を与える。公園や森でベンチに腰掛け、耳を済ませだけでもいい。リフレッシュできるはずだ。

## 観光案内所活用のすすめ

遠近を問わず、旅行情報を探すときに便利なのはインターネットだが、ほしい情報にたどりつけないこともある。そこで活用したいのが観光案内所だ。ここ数年のインバウンド急増のおかげで、自分たちの町の魅力を発信しようと、全国各地に観光案内所が次々と誕生している。

見やすい地図や観光地のパンフレット、ホテル案内などが揃い、場所によっては名産品を陳列・販売しているとこもある。何よりも、ちょっとした疑

問に答えてくれるのもありがたい。例えば、観光地までの行き方や、今日1日どこをまわればいいのかなど、遠慮なく尋ねるといい。これまで知らなかった穴場を発見できることもあるし、何よりもぼんやりしていた旅がどんどん肉付けされていく。旅行の目的は何であれ、現地では観光案内所にぜひ足を運んでほしい。

## 近年人気の収集系旅行

ここ7〜8年の大ブームとなつているのが御朱印だ。パワースポットの流行から派生したものとみられ、神社仏閣を持つ特別な空間に身を置いて心身ともにリフレッシュする。その記念として御朱印をいただくのが若い女性を中心に広まった。今では小さな神社でもいただくことができ、有名神社限定の御朱印ともなれば、数時間前から多くの人が集まるほどだ。

御朱印ブームに続けと、生まれたも

の1つが「御城印」だ。日本に約5万あるといわれる城や城跡で入手できるもので、歴女や城マニアの間で人気が高まった。

年齢を問わない「鉄印」も好評だ。経営に苦しむ全国40の第三セクターがローカル線集客のため始めた一種のスタンプラリーで、これが鉄道ファンの心をガッチリつかんだ。各鉄道会社オ



御朱印収集が女性の間で一気に広まった。  
川崎大師の御朱印

リジナルの鉄印帳を発行し、鉄道に乗って景色を眺めながら鉄印を集める旅が、もはや珍しいものではなくなつた。

収集系ではマニアックなカード類も評判を呼んでいる。ダム、マンホール、文化遺産、ジオパークなどがその例。地域は限られるがアンテナ、ロープウェイ、さらにニッチな埼玉の橋カード、沖縄の沖縄観光インフラカードといったものもある。

どれも目的地へのアクセス自体が旅行となり、周辺の観光地や温泉に寄つてのんびりすれば一石二鳥、しかも地域に貢献もできる。印も、カードも、基本的にそこへ足を運ばなければもらえないのがポイントだ。

### 自分の好きを旅行する

旅行でいちばん楽しい時間は、ワクワクしながら計画を立てるときだろう。ワクワクへの近道は、自分の好きなことと旅行をつなげることだ。

例えば、趣味が釣りであれば、全国の溪流や湖、海に足を運び、訪れた場所を自分なりに比較するのもおもしろい。ところで、釣りなど自然の中で楽しむものは、基本時なルールを守るの

が大前提だ。ゴミの持ち帰りや、釣りなら日本の生態系の破壊にもつながる外来種のキヤッチ&リリースはしないことがマストである。

以前、ローカル線のボックスシートに座っていたとき、向かいの人が全国のマラソン大会に参加するのが興味で、旅費の節約も兼ねてローカル線やバスに乗って移動するのが楽しいと話してくれたことがあった。現在地域おこしの一環として、全国各地でマラソン大会が開催され、宿泊パッケージを用意している自治体も少なくない。飲食や宿泊を兼ねれば、こちらも大きな地域貢献となる。

参考までに、アメリカではスポーツ観戦旅行が定着している。ごひいきチームの対戦相手の本拠地へ観戦に行き、あわせて観光を楽しむスタイルだ。例えば大リーグ球団がある町では試合日に必ずといっていいほど、ホテルで対戦チームのTシャツやトレーナーを着た人を見かける。そして、観光スポットに行けば先ほどの観光客に会う。フロリダやアリゾナの春季キャンプ巡りも大リーグファンにとっては憧れて、これを日本の沖縄に置き換えてみることもできる。

アニメの聖地巡礼・ロケ地巡りも各自治体が注力しているものの1つだ。『鬼滅の刃』の主人公の苗字が含まれる福岡県太宰府市の宝満宮竈門神社ほうまんぐうかまどは、今や指折りの聖地である。古くはアジアを中心に爆発的な人気を博したドラマ『おしん』。母が出稼ぎに行った、山形県花沢市の銀山温泉も、ロケ地めぐりの定番スポットだ。

ほかに、回つてみたいゴルフコースや自動車レースのコース、写真撮影の絶景スポット、好きな画家の作品のある美術館、世界遺産、猫島、歴史上の人物ゆかりの地など、興味のあることを旅のテーマにすると、選択肢が広がり、旅をすればするほど自分の視野も広がる。

### マニアのツボを抑えるホテル

ホテル業界も涙ぐましい努力をしている。オリンピック種目への期待がかかるeスポーツ。客室にはゲーム機とゲームに特化した椅子、キーボードやマウスの貸し出しも行うホテルも出てきた。箱根には図書館を持つ温泉付きのホテルも誕生。箱根にかぎらず、読書好きの関心を引く宿が全国にも点在する。また、ベットと一緒に泊まれる

ホテルも好調だ。地元の観光資源とコラボしたホテルパッケージにも注目したい。恐竜のまちとして知られる福井県勝山市は、恐竜博物館の入場券付きや恐竜ルームに泊まれるパッケージもある。

変わったところでは、モンゴルのゲルの宿、廃校を活用した宿、寝台車を再利用したホテル、平安装束を着ることができ寝殿造の宿、極め付けは栃木県佐野市の竪穴式住居だ。

運転手気分になれるトレインシミュレーター付きの客室を期間限定で販売するなど、どこも非日常空間を演出するための策が練られ、旅の目的をホテルにするのもおもしろい。

### 日本立て直しのためにも

国内のコロナ感染者数が激減しているが、気軽に海外旅行ができるようになるまでは、また時間がかかりそうだ。「Go Toトラベル」の再開やワクチン接種者に特典のある宿泊施設も増えてきた。近場でもいい、旅は停滞した日本経済活性化にもつながる。さらに、旅はその人の人生にとって大きな宝物となることもある。そろそろ旅に出て

はいかが。